平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名　パウダーテック株式会社　　上場取引所　大
コード番号　5695　URL　http://www.powder-tech.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 隅田　洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長　(氏名) 徳重　秀人　TEL 04-7145-5751

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,582	4.8	899	△5.9	890	△4.9	447	△14.4
23年3月期第3四半期	7,236	18.2	956	404.0	936	433.0	522	503.1

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　446百万円　(△14.9%)　23年3月期第3四半期　525百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	30.17	―
23年3月期第3四半期	35.26	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,748	6,110	62.7
23年3月期	9,444	5,811	61.5

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　6,110百万円　23年3月期　5,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	10.00	10.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,650	2.9	1,030	△9.3	1,000	△10.6	530	△13.1	35.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,850,000 株	23年3月期	14,850,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	22,794 株	23年3月期	22,294 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,827,318 株	23年3月期3Q	14,830,073 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災によるサプライチェーンへの深刻な被害、加えて円高の進行により、依然として景気の先行きへの不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループの主力製品である電子写真用キャリアは、震災と夏期の電力規制の影響により期間中の需要は大きく変動したものの、キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターは新興国を中心とした販売が底堅く、第３四半期累計では前年同期を上回る増販となりました。

脱酸素剤関連製品は第１四半期において震災による食品業界のサプライチェーン混乱などの影響を大きく受けましたが、第２四半期からは徐々に回復傾向を示しております。鉄粉関連製品は震災後のお客様のカイロ増産などから好調に推移しました。これらにより当第３四半期の売上高は前年同期比4.8%増加の7,582百万円となりました。

損益面では、キャリア事業の増販益はありましたが、鉄粉事業の減販損、研究開発費の増加により、連結営業利益は899百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

連結経常利益は890百万円（前年同期比4.9%減）となり、固定資産除却損、法人税等を差し引いた連結四半期純利益は447百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア事業

当セグメントにおきましては、夏期の電力規制下においてもお客様の注文に迅速に応えるべく操業を行いました結果、売上高は5,270百万円（前年同期比5.5%増）となりました。セグメント利益は電力規制に伴うコストアップ等がありましたが、増販益により1,132百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

②鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は震災による需要不振などにより減販となりましたが、震災に伴うカイロ用鉄粉の需要増加もあり、全体の売上高は2,312百万円（前年同期比3.1%増）となりました。セグメント利益は生産物流改善等のコストダウンに引き続き努めましたが、脱酸素剤関連製品の減販損が影響し147百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

なお、第１四半期連結会計期間から、組織変更により報告セグメントを変更しておりますが、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した数値に基づき、前年同期との比較分析を行っております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、その他流動資産（預け金）は減少しましたが、売上増に伴う受取手形及び売掛金と棚卸資産の増加により、428百万円増加いたしました。固定資産は、キャリア製品製造設備等の設備投資を行いましたが、減価償却が進んでいることにより、124百万円減少いたしました。以上により、総資産は303百万円増加し9,748百万円となりました。

負債は、未払法人税等と未払金が減少しましたが、短期借入金が増加しましたので、5百万円増加し3,638百万円となりました。借入金は前連結会計年度末に比べ440百万円増加し640百万円となっております。

純資産は、利益剰余金の増加により、298百万円増加し6,110百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2%増加し62.7%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月7日に発表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	360,731	349,459
受取手形及び売掛金	1,102,222	1,478,308
商品及び製品	906,557	1,121,234
仕掛品	869,179	741,020
原材料及び貯蔵品	313,795	405,862
繰延税金資産	159,320	162,751
その他	468,159	346,293
貸倒引当金	△4,300	△903
流動資産合計	4,175,665	4,604,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,445,422	3,453,129
減価償却累計額	△2,204,848	△2,236,196
建物及び構築物（純額）	1,240,574	1,216,932
機械装置及び運搬具	6,014,117	6,020,285
減価償却累計額	△4,872,474	△5,097,391
機械装置及び運搬具（純額）	1,141,642	922,893
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,572,416	1,635,312
減価償却累計額	△993,520	△1,109,410
リース資産（純額）	578,896	525,901
建設仮勘定	165,135	319,383
その他	331,967	335,637
減価償却累計額	△291,761	△295,161
その他（純額）	40,205	40,475
有形固定資産合計	5,026,653	4,885,785
無形固定資産		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
投資その他の資産		
投資有価証券	14,878	14,894
繰延税金資産	195,771	198,121
その他	36,428	62,220
貸倒引当金	△6,818	△18,532
投資その他の資産合計	240,260	256,704
固定資産合計	5,268,778	5,144,354
資産合計	9,444,443	9,748,381

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	986,103	984,683
短期借入金	200,000	640,000
リース債務	141,792	143,001
未払金	524,084	441,072
未払法人税等	461,827	148,351
未払事業所税	16,942	12,749
未払消費税等	6,252	45,061
賞与引当金	178,386	126,475
役員賞与引当金	24,000	－
その他	168,076	217,017
流動負債合計	2,707,465	2,758,412
固定負債		
リース債務	437,103	385,824
退職給付引当金	418,836	435,592
役員退職慰労引当金	63,264	52,322
環境対策引当金	5,900	5,900
固定負債合計	925,103	879,639
負債合計	3,632,569	3,638,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	2,704,231	3,003,358
自己株式	△6,074	△6,196
株主資本合計	5,821,157	6,120,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△515	73
為替換算調整勘定	△8,767	△9,907
その他の包括利益累計額合計	△9,282	△9,833
純資産合計	5,811,874	6,110,328
負債純資産合計	9,444,443	9,748,381

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	7,236,347	7,582,972
売上原価	5,347,402	5,696,343
売上総利益	1,888,944	1,886,628
販売費及び一般管理費	932,256	986,773
営業利益	956,688	899,855
営業外収益		
受取利息	6,610	2,098
助成金収入	4,720	9,809
その他	4,488	6,516
営業外収益合計	15,818	18,424
営業外費用		
支払利息	4,465	5,131
為替差損	13,116	3,570
債権売却損	16,449	17,201
その他	2,050	2,022
営業外費用合計	36,082	27,926
経常利益	936,424	890,353
特別利益		
有形固定資産売却益	897	－
特別利益合計	897	－
特別損失		
有形固定資産除却損	43,880	46,685
投資有価証券評価損	－	963
特別損失合計	43,880	47,648
税金等調整前四半期純利益	893,442	842,705
法人税等	370,516	395,301
少数株主損益調整前四半期純利益	522,925	447,403
四半期純利益	522,925	447,403

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	522,925	447,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△720	588
為替換算調整勘定	3,039	△1,139
その他の包括利益合計	2,318	△550
四半期包括利益	525,244	446,852
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	525,244	446,852

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	脱酸素剤事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	4,993,401	1,084,368	1,158,577	7,236,347	―	7,236,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	42,877	―	42,877	△42,877	―
計	4,993,401	1,127,245	1,158,577	7,279,224	△42,877	7,236,347
セグメント利益	1,080,162	81,816	106,521	1,268,499	△311,811	956,688

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△311,811千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△311,187千円及び棚卸資産の調整額△624千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	5,270,384	2,312,587	7,582,972	―	7,582,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	5,270,384	2,312,587	7,582,972	―	7,582,972
セグメント利益	1,132,856	147,297	1,280,153	△380,298	899,855

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△380,298千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△379,505千円及び棚卸資産の調整額△793千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．　報告セグメントごとの変更等に関する事項

前連結会計年度まで、「キャリア事業」、「鉄粉事業」、「脱酸素剤事業」の３つを報告セグメントとしておりましたが、「鉄粉事業」と「脱酸素剤事業」について、平成23年４月１日付で両部門を「鉄粉事業部」として統合し、鉄粉の調達、加工、販売を一貫して行うとともに、人員及び業務の再配分による業務の効率化と技術・人材面でのシナジー効果による研究開発の効率化を図る体制に組織変更いたしました。

したがって、第１四半期連結会計期間より、「キャリア事業」、「鉄粉事業」の２つを報告セグメントとしております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は次のとおりであります。

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	4,993,401	2,242,946	7,236,347	―	7,236,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	4,993,401	2,242,946	7,236,347	―	7,236,347
セグメント利益	1,080,162	188,337	1,268,499	△311,811	956,688

（注）１．調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△311,811千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△311,187千円及び棚卸資産の調整額△624千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。